毎日が特別（スペシャル）！福島の未来は亀岡にお任せください！

福島に笑顔を！

衆議院議員　**亀岡 よしたみ**

活動報告 ２０１６年８月号

笑顔溢れる福島県 もちろん主役はあなたです

被災前より素晴らしい福島を目指して

東日本大震災から５年。様々な困難を乗り越えてきた。まだまだたくさんの課題はあるが、皆でこの復興・創生期間を実りある５年間として被災前より豊かな福島県を創りだす！

東京オリンピックパラリンピック in 福島

2020 年東京で開催されることが決定したオリンピック パラリンピック大会では、予選大会を福島県へ誘致する。海外の人々へ福島の復興した姿をみせる大きなチャンスになる！

農業は国のいしずえ

日本は島国であり、食料は自国で供給ができなければもし世界情勢が不安定になった際大変なことになってしまう。日本の農業をさらに豊かにすることを国は責任を持って果たす！

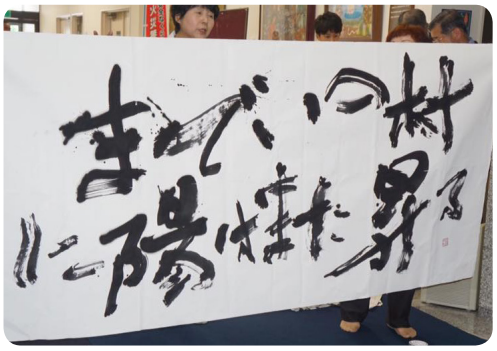
子育て世代で創る、魅せる 福島

福島の未来を担う若者たちに積極的に政治に参加をしてもらい、この国の未来をともに創っていく。これからの福島の主役はこの若者達だ！

福島県産の酒米が日本中へ

安倍晋三総理大臣の昭恵夫人が福島市荒井地区へ田植えに訪れた。銀座ミツバチプロジェクト（福島市と銀座の皆さんが長年続けている交流会）の皆様が主となり「福島×銀座×山口　酒づくりプロジェクト」を立ち上げてくださり、同プロジェクトの第一歩目として福島県産の酒米をつくる為の田植えだ。福島の復興なくして日本の復興なしと言い続けて下さる総理のご夫人も自ら行動し、福島の為にと活動していただいている。福島でつくったこのお米を山口県の酒蔵で美味しいお酒をつくり、日本中に福島県のお米の美味しさ素晴らしさを伝えようとするこのプロジェクトは福島×山口というのも話題性があって面白い。このプロジェクトの成功を祈り、携わるすべての皆様に心より感謝申し上げたい。

飯舘村役場が帰村 村民の苦悩続く



東日本大震災における東京電力福島第一原子力発電所の事故により避難指示を強いられた飯舘村。あの日から５年が経ち、様々な困難を乗り越えてきたが、未だに大変な日々が続いている。７月１日役場が飯野町から飯舘村に帰ってきた。菅野典男村長は「まだまだマイナスからゼロになったようなもので本当に頑張るべきなのはこれからだ」「一人でも多くの村民が戻れるようにしたい」と復興を加速させる決意に満ち溢れた表情だった。この日を記念して福島市の書道家で双龍会長の斎藤正嗣さんが「までいの村に陽はまた昇る」「感謝」「躍」「心」」の書をしたため、皆でこの書を掲げて決意を新たにした。美しい緑を取り戻し、までいの村に陽がまた昇るその日がくるまで私もできることはすべてやらせていただく覚悟だ。

農業の発展なくして国の発展なし

あんぽ工房みらいが完成し、ここであんぽ柿の加工、選別、そして包装される。ここから全国の美食家のもとへあんぽ柿たちが旅立つ。この施設をつくるにあたっても国の予算を確保するために働かせていただいた。

南相馬市小高区の農業復興組合皆様のもとを訪れた。農地の復興を願い、日々田畑のゴミを拾いから整備まで自分たちで行っている。見通しの立たない中皆の不満もたまっていたが、農地の復興の為尽力することを約束申し上げた。

福島県の美味しい美味しい桃のシーズンがやってきた。（写真は献上桃の郷桑折町の桃）福島県の桃は一度食べたらやみつきになるほど美味しいので、いかにたくさんの人に食べさせるかを工夫して取り組んでいる。

相馬野馬追 騎馬会後援会

五郷騎馬会に協力金
後援会が100万円

相馬野馬追騎馬会後援会（会長・亀岡偉民衆院議員）は7日、相馬野馬追に出場する五郷騎馬会に協力金100万円を贈った。同後援会は、野馬追の成功と、出場者の活躍を祈り協力金を毎年贈っている。贈呈式は南相馬市原町区の原町フローラで行われ、亀岡会長や五郷騎馬会の代表者らが出席。同後援会の吉成昇副会長が各騎馬会の代表者に協力金を手渡した。各騎馬会の代表者が謝辞を述べるとともに、開幕が迫る相馬野馬追への意気込みを語った。

五郷騎馬会の代表者に協力金を手渡した贈呈式

5騎馬会に計100万円贈る
後援会

相馬野馬追騎馬会後援会は7日、相馬野馬追の宇多、北、中ノ、小高、標葉の各騎馬会に二十万円ずつ（計百万円）を贈呈した。

贈呈式を南相馬市のウエディングパーク原町フローラで行った。亀岡偉民会長（衆院本県1区）、吉成昇会長（国際平和機構理事長）、高山康則副会長（岡山県津山市東京町内会会長）、佐藤光三郎（中島三軍団支部長）が、中島三軍団正和手多郷騎馬会長、菅野長八北郷騎馬会長、佐藤英夫小高郷騎馬会長、脇坂博標葉郷騎馬会副会長に手渡した。

全国の会員が野馬追の成功を願って寄せた浄財を贈った。

（右から亀岡、武沢、菅野、吉成、中島、佐藤、脇坂、高山の各氏）

もう野馬追を続けるのは困難かもしれない。東日本大震災による大津波の被害により愛馬や多くの仲間を失ってしまった。震災後の騎馬会はその岐路に立たされていた。その場に居合わせた亀岡はすぐに決断し、騎馬会の皆様を盛り立てた。「全国の仲間に声をかけて応援をするので、絶対に開催し成功させよう！」その強い思いで騎馬会後援会を立ち上げ、亀岡の呼びかけにより全国から多くの義援金が集まった。

２０１１年７月２３日～２５日の３日間、亡くなられた方の鎮魂を願い、更には相双地方の復興のシンボルとして「東日本大震災復興　相馬三社野馬追」と称し野馬追祭は開催された。騎馬武者たちの勇壮な出で立ちはみるものすべてを感涙させた。騎馬武者行列から騎馬会後援会へ述べられた感謝の口上は復興への決意に満ち溢れていた。
それから毎年全国からの支援は続き、今年で震災後６回目の野馬追を迎える。今年、７月７日騎馬会後援会から軍者の皆様へ協力金を手渡し、各騎馬会の肩章交付式、出陣式に出席し成功を祈念した。

日本の心を大切に

茶道裏千家淡交会福島支部長として

日本の在り方が問われている。便利な世の中となり、情報が飛び交い人々は何かと忙しい日々を過ごしている。この茶道という伝統文化がまさに現代の日本人にとって大変重要なことである。目の前に呈されたお茶に自分の心を映し、ひと息ついてお茶をいただき心を落ち着ける。その度にこの伝統文化の素晴らしさを毎回感じさせていただいている。この素晴らしい日本の伝統文化を守り継承する皆様に敬意を表しこの仕事につかせていただいている。茶道をこれからもより広めて、故きを温ね新しきを知る。素晴らしい日本を皆で創っていきたい。

裏千家淡交会福島支部の研修会

スポーツの力を発信

スポーツの魅力で福島から日本を盛り上げる

２０２０年オリンピックパラリンピック大会が東京で開催されることが決まった。この大会は災害から立ち上がった福島県の復興した姿を世界にアピールするこの上ないチャンスだ。予選大会を福島県に誘致したい。特に野球については、前回の東京オリンピックの「オリンピックマーチ」や高校野球のテーマ曲である「栄冠は君に輝く」の作曲者の古関裕而氏の出生地である福島市へ。そしてサーフィンを日本有数の素晴らしい波がくる南相馬市へ誘致することで福島県の復興ををアピールするだけでなく経済活性化の起爆剤になることは間違えない。

菅官房長官へ要望を伝える

急な災害にもすぐに対応！！

福島から恩返しのキャッチコピーとその思い、物資を乗せたトラックは１６時間かけて被災地の皆様に届けられた。二女まなみを団長として物資を届けた。熊本市湖東地区は益城町の隣の地区で、「物資が益城町には多く届くがこちらにはなかなか届かず困っていた、ありがとう。」と非常に感謝された！後日集められた義援金を木原稔衆議院議員へ託した。

２０１５年９月県北を襲った大雨土砂災害で伊達市霊山町国道 115 号が消滅。現場に行ったその瞬間、すぐに担当に電話をかけ、とにかくすぐに工事を開始できるように働きかけた。現場はすぐに動き　現場の皆様の夜を徹しての作業のお陰で、ものすごいスピードで道路の仮復旧が完了した。現場を自分の足で歩き、強い思いで物事を動かしていく。これが代議員制度の代議士として地元から選出される衆議院議員のあるべき姿だと考える。

伊達市梁川町舟生地区も大雨土砂災害で道路が消滅していた。なかなか要望が通らないとの相談を受け、こちらもすぐに道路の工事が始まるようにと働きかけをさせていただいた。

大学生にも政治を学んでもらう

福島大学と福島学院大学にて講義をさせていたき、学生たちと意見交換をさせていただいた。選挙権が 18 歳以上に変わり、今まで以上に政治に対する関心が高い学生が増えてきた。テレビ新聞では知ることのできない政治の現場のお話をさせていただいた。より選挙に関心を持っていもらうだけでなく、この中からこれからのリーダーが出てくる。そんな願いも込めてお話しさせていただいた。

日本の未来を託すこども達のために

会長を務める三河台体育協会の運動会

福島市スポーツ振興公社の野球教室に早稲田大学の高橋広監督と 2015 年プロ野球ドラフト会議　巨人 2 位の重信選手と楽天 3 位の茂木選手を派遣し、自らも指導に参加。

三河台体協で子どもたちのカローリング大会を開催　笑顔が溢れた

だての郷 SAKURA まつりサッカー大会

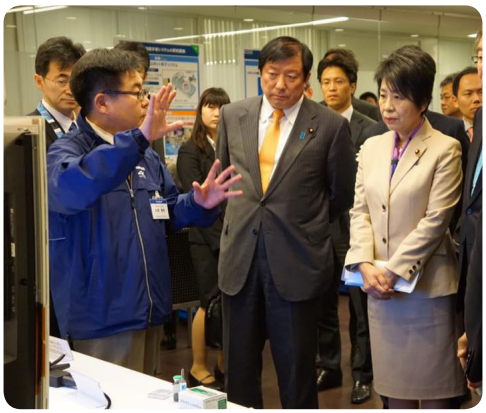
政務官時にこども元気復活交付金を使いこのパレオパークやながわが完成

上保原認定こども園を海老原先生に御案内いただき、現状をみて歩いた。

国会に訪れる子どもたちを案内し、政治を身近に感じてもらう。

子ども達へいつもお願いしている事がある。「人の文句や愚痴を言わないで頑張ってほしい。」人の足を引っ張るような行動は自分のが頑張らなくていい理由をつってしまい、人間としての成長を邪魔するからだ。この子どもたちには切磋琢磨してもらい、素晴らしい福島の未来を創るリーダーになってほしい。その思いを込めて皆にそのようなお願いをさせていただいている。

すべての人が明るく輝く社会



若者だけでなくご年配の方も元気で活き活きと暮らしていただき、世界最高水準の健康寿命を誇る日本人の健康がさらに良くなるように様々な取り組みをさせていただいている。スポーツイベントの開催や、国会での医学の研究についての取り組みに力を入れた。そして福祉施設の皆様のもとを訪れ、現場の意見を聞かせていただき、国としても最大限支えていけるよう努力することを約束した。

地域の代弁者として県内各地を走り回る

桑折町商工会の皆様と意見交換会

南相馬市の工場にて皆様の話を聞かせていただく

災害公営住宅工事現場にて現場の皆様を激励

桑折町半田山 山開きにて

福島市松川町水原に群生するクマガイソウの里まつりオープニングセレモニーにて

国見町つつこ引きまつり　春日神社にて

飯舘村伊丹沢　復興桜の集い

国見町貝田宿さくらまつり

福島市立子山地区のお花見

飯野町館山公園整備促進協議会の皆様と

福島市大波の皆様と恒例の BBQ

梁川町舟生地区の皆様と猿跳岩の前で

福島市飯坂町茂庭 蓮華滝不動尊祭礼にて

梁川町白根の雷神社例大祭にて

国見町観月台にて三社合同祭礼と農業市